



# 善正寺だより

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
TEL:0593-31-1670  
TEL:0593-32-0733

## 掲示板法話

### ウツも捨てたものではない

### 真の人生に目覚めるチャンスである



六月は梅雨前線が停滞して、雨の多い季節。しとしと降る雨を恨めしげに「うつとうしいなあ」とつぶやくことはありませんか？天候のことだけではありません。誰かの存在がうつとうしい。学校が、会社が、世の中がうつとうしい、と感じる人が増えている。小学生の12人に一人、中学生の7人に一人がうつとういと言われ、自己肯定感の低い子供の割合が世界でダントツに多いのが日本です。うつ病が三百万人とも言われ、大人も高齢者も例外ではありません。

先日、「在家仏教協会」の主催する講演会に行きました。この会は一九五四年、故加藤弁三郎氏(協和発酵会長)が創設した一般社団法人で、加藤氏亡き後も次のような4つの信条を掲げる在家仏教者の団体です。

1. 釈尊の説法虚言ならずと信じていること。
  2. 釈尊の説法の内容そのものは永遠の真理であるが、それを大衆に知らせる手段は、時と処と人に応じ、つねに新鮮でなければならぬと信じていること。
  3. 呪術らしきものは一切排除すること。
  4. 在家生活のまま仏教に生きようとしていること。
- 月刊誌『在家仏教』はこの協会が全国各地で開催する講演会の記録を基に編集されていて、その新鮮さは大いに勉強になります。さて、講演会に参加して、「雨に風に」(長田恒雄作詞)という素晴らしい歌を知りました。
1. 雨の降る日は 雨の中 雨に降られて濡れながら 身にしみじみとしあわせを 思うこの日の うれしさを ただただ仰ぎゆく みひかりを
  2. 風の吹く日は 風の中 風に吹かれて揺れながら 世のいばらにもよろこびを 思うこの夜の うれしさを ただただ慕いゆく みほとけを
  3. 雨の降る日は 雨に濡れ 風の吹く日は 風に揺れ 身はさながらに 生きながら 力あふれる うれしさよ ただ願いゆく みほとけを
- 「雨に降られて濡れながら、身にしみじみと幸せを思う」「風に吹かれて揺れながら、世のいばらにも喜びを思う」

イナミック(躍動的)な生き方こそ、在家仏教の隠し味ですね。

「うつ病」のうつ、「うつとうしい」のうつは、「鬱蒼と茂る」というように、樹木が群がり、根っこが絡み合って茂る有様を表わします。その盛んなエネルギーがふさがれて滞っているのがうつですが、「何のために生きていくのか」「死んだらどうなるのか」という問いが頭をもたげているのです。真の人生に目覚めるチャンス到来です。「生きてきてよかった」と言える人生に目覚める第一歩ですね。

◇写真アラカルト◇

『念仏の声を未来に、子や孫に』と願いつつ、今月も喜びのシーン、「ご覧下さい！」



### ☆行事ご案内☆

## ◇6月の門信徒会例会

### 6月16日(日)午後7時半

- ① 親鸞聖人七五〇回大遠忌法要修行にむけて『善正寺発展4カ年計画』作りへの討議開始
- ② 「世の中安穏なれ、仏法広まれ」の背景と聖人の苦悩

### ◇キッズサンガ

6月1日(土)午後4時より『集い』、ゲーム等  
新しいお友達もぜひどうぞ。毎日5時の鐘つき誰でも可  
善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索、トップページの左欄「善正寺だより」をクリック、ファイルを開くと1年分の寺報が見られます。毎日更新の「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。  
開設4年10ヶ月で10万9千訪問、一日平均100程、コメント大歓迎、一面お問い合わせ欄よりのメールや悩み相談には即返信します

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へお電話を！5人の僧侶が週替わりで担当、3分間で法話が聞けます

三重組コーラス 6月10日(火)午後1時半、西勝寺様にて練習  
7/2(火)名古屋別院音楽祭バスにて参加『花は咲く』他

### 三重組仏教講習会 (講師 直海玄哲先生)

6月14日(金)午後西覚寺様(東日野)、15日(土)午前・午後光徳寺様(寺方)、16日(日)午前・午後浄蓮寺様(御館)

### ◇お知らせ

※親鸞聖人750回大遠忌法要が平成28年5月1日に決定！  
※来年(平成26年春)初参式を受ける赤ちゃん、幼児を大募集

坊守スケッチ

『蜘蛛の糸』続編を考える



あるお寺の子供の集いで、大型紙芝居を使ったご法話を聞いた。題材は芥川龍之介著の『蜘蛛の糸』。あらずじを簡単に紹介しよう。カンダタという極悪人が地獄で苦しむ姿を、お釈迦様をご覧になった。彼が生前蜘蛛を助けたことを思い出され、地獄から助けてやりたいと一本の蜘蛛の糸を下された。カンダタは大喜びで上り始めたが見下ろすと同じ罪人たちもぞろぞろと上ってきた。「この糸は俺様のもの。重みで切れる。お前たちは下りろ！」と叫んだ。その瞬間糸はプツリと切れて、再びカンダタは地獄の底に真っ逆さま。お釈迦様は悲しそうな顔をされて立ち去られた。物語はここで終わる。紙芝居を見た子供達に、「ご講師は反応を問いかける。「なぜ蜘蛛の糸は切れたのだろうか？」子供達からは「自分だけ助かろうとしたから」と本質を突いた答えが返ってきた。「このままで物語が終わってしまったら、カンダタがあまりにも可哀想。だから今日は芥川さんには内緒で続編を作ってきた。『再び地獄の底に落ちたカンダタは深く反省をした。もし、もう一度お釈迦様が蜘蛛の糸を垂らして下さったら、今度は皆で極楽へ行けるように一緒に上る決心をした。極楽は皆と一緒に

に行くところ。地獄は一人寂しく行くところ」という言葉でまとめられた。なるほど違った視点から『蜘蛛の糸』を味わうのも面白い。もし私だったらどうという展開をするだろうか考えた。現在娑婆地獄で苦しんでいる人は大勢いる。この地獄から一時でも早く、誰よりも早く抜けたいと思うのは人の常。しかし一つの地獄から抜け出したかと思ったら、また別の次の地獄が待ち構えている。これが人生というもの。いい時はほんのちよつとだけ。苦悩の波が次々に押し寄せる。年若い「こんな筈じゃなかった。こんな目に遭うなんて」という嘆きが聞こえる。たとえ何不自由のない生活をしている人でさえ「毎日が退屈、寂しい」と愚痴がでてくる。人間って少しは心配事や苦勞があつてちよぼちよぼ。感謝という心がなければ、いつまで経っても極楽は見えてこない。もし親鸞聖人が『蜘蛛の糸』続編を書かれたらどうなるのか想像した。「阿弥陀様のお浄土は、蜘蛛の糸を上りきった所にあるのではない。あなたが地獄だと思つているその場所でも『南無阿弥陀仏』を唱えることで、お慈悲の光明が差しこめる。あなたはそれに包まれて阿弥陀様に抱かれてお

浄土へ救われていく。地獄は地獄のままで救われていく道がここにある。私が年老いて不自由な体になった時でも、こうして喜べる道があることを心に置いて、今からみ教えをしつかり聞いて準備しておこう。

☆寄稿

- ☆四日市市川崎孝一 医師のごと 軽くポンポン 打診して 熟度を計る 西瓜のお客
- ☆強風の 舗装道路を 仔雀か 転がる様に 戯れあるを
- ☆下校時に 道草食つて 紫雲英田に 角力を取つた友 いま何処に
- ☆4月21日新世話方の選挙開票が行われ、次の10名が選ばれました。向こう4年間よろしく願います。(門徒総代) ◎館十三生様・館勤様・服部則男様(特別会計)館勇次様(世話方)川崎勉様・佐藤和美様・服部雅之様・服部信也様・服部浩二様・服部徹次様(順序不同)
- ☆平成25年度の門信徒会会長(行事長)に館耕司様・会計に館司郎様、婦人部には館澄代様にお願ひしました。
- ☆善正寺の親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が平成二十八年五月一日(日)に決定!まだ三年間の月日があります。が、「ご法要をお迎えするにあたり皆様方のご協力よろしく願ひします。
- ☆来年(平成26年4月19日(土))午後初参式を受ける赤ちゃん、幼児を大募集!三全仏主婦主催。会費千円。

♪三重組コーラス♪

☆6月10日(月)午後練習 西勝寺様 7/2名古屋別院音楽祭出演 キッズサンガ・杉の子合唱団

夕方5時の鐘つきは年中無休。ご褒美当り付きガム。誰でも撞けるよ ☆6月1日(土)4時 お経ゲーム他 新しのお友達大募集!誰でも参加できます。お経や作法も覚えられます。

☆カンパ有難う☆

山中つや子様・澤田美智江様、他匿名様より頂戴しました。感謝! 【平成25年度今後の善正寺行事予定】 ※8月24(土)・25(日)『秋季永代経』講師足利孝之師(尼崎)

※9月22日(日)午前・午後『小杉町仏教会追悼法要』講師鎌田宗雲師(滋賀) ※11月2日(土)午後・夜3日(日)午前『報恩講』講師藤大慶師(京都府) ※11月23日(土)午前秋勧進

※12月7日(土)夜『お内仏報恩講』 ※12月31日夜11時45分除夜の鐘 ◆その他、毎月第3日曜日夜7時半より『門信徒会例会』 ☆善正寺のホームページ。『三重 善正寺』で検索可。毎日更新の『住職と坊守のつれづれ日記』が好評。開設4年100カ月で10万9千訪問。毎日平均100訪問。悩み相談、コメント大歓迎。

☆編集子より☆

『善正寺だより』234号をお届けします。◇異常気象でしょうか、寒暖の差が激しく体調維持が大変ですね。心身の健康に留意して、ご愛読下さい。合掌。

ラジオを聴きながら散歩をしている時心温まる投稿が読  
まれました。故郷で夫の両親を介護している兄嫁に対  
して、次男の嫁からのねぎらいの手紙です。「お義姉さん  
何もお手伝いできなけれども、いつも有難うござります  
これを聞いた多くのリスナーが朝から爽やかな気持ちに  
なりました。とかく面倒なことは避けて通りたいたいの。

権利は主張するが義務と責任は回避したい傾向  
になりがちです。義父母の介護を愚痴り言わず引き受  
けてくれる兄嫁に、ラジオで感謝の気持ちを伝えるなんて  
何と粋な計らいではありませんか？この他にも人知れず  
皆の爲に働く方がいます。神社の清掃を一人黙々と  
される方、誰に頼まれた訳でもなく、誰から御礼を  
を言われる訳でもなく、真夏でも真冬でもシユリ  
ハンドルの如くただひたすらにお掃除されます。この方  
はお寺の行事にも率先して参加されて支えて下さ  
います。決して自分を誇らず、言葉ではなく行動で  
後輩の者にお手本を示して下さいます。高齢になそ  
若者から労わられて当たり前前と思つたのではなく、老いても  
なお自分がお役に立つことを黙々とやり続ける行動  
力、その姿を間近に拝見してどれだけお育て頂い  
たことでしょうか。やそもらって当り前ではなく有難いと受け  
止めて感謝の言葉を伝えたいものです。善正寺の新  
役員さんが決まり新体制でスタートします。皆様のこ  
協力もろくくお願い申し上げます。

合掌

平成二十五年六月

善正寺坊守拝